

医療支援室 だより

TOPICS

- 病院機能評価の認定について/ 事務長ご挨拶
- 小児科主任部長よりご挨拶
/ 診療科紹介 内科（消化器内科、血液内科）
- 外科トピックス/ 小児科トピックス
- 部門紹介 リハビリテーション科 / 薬剤科 /
検査科 / 放射線科/ 健康管理センター / 栄養室
- 医療支援室より ■外来担当医表



病院機能評価の認定について

この度、当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の「認定病院」となりました。とは言え、当院は既に、2006年に同機構の認定を受けておりましたが、諸般の事情で5年後の再受審（更新）を受けなかったため、認定が消滅しておりました。電子カルテの導入や広島市民病院からの人間ドックの移管などのハード面の整備が一段落し、ソフト面での不備も散見されていたこともあり、2016年度の目標を「病院機能評価の受審」に絞りました。看護科を中心に病院の全職員が一丸となって、初回受審のつもりで1年間切磋琢磨し、本年3月の11年ぶりの再受審では、特に大きな問題の指摘も受けず、無事合格いたしました。準備の過程で職種間の連携も密になっており、今回の受審が、今後の地域連携にも役立ってくれればと期待しております。今後とも宜しくお願いいたします。

（病院長 柳田 実郎）



事務長よりご挨拶



事務長
上野 弘

舟入市民病院事務室事務長の上野と申します。平素より当院の運営に御支援御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当院には 365 日 24 時間の診療を行っています小児科と、一般成人を対象とした内科・外科などがあり、第二種感染症指定医療機関として市民の安全安心を確保することを使命としています。今後ますます高齢化が進展する中、一般成人を対象とした内科・外科を中心に、地域に根差した病院として診療所を通じた地域住民の増悪時の受け入れに力を入れていきたいと考えています。

このため、当院では 29 年度から医療支援室の人員配置を充実したところであり、皆様方には医療支援室を積極的に御利用いただき、至らない点につきましては改善を進め皆様方の御期待に添っていききたいと考えております。これから感染症も増える季節となりますが、当院にお気軽に御相談いただきますよう、お願い申し上げます。

◆小児科主任部長よりご挨拶◆



小児科主任部長
岡野 里香

5月より小児科主任部長として赴任しました岡野里香と申します。5年前まで当院に約19年間勤務しておりましたので、ご記憶にある方もおられるかと思います。前任の尾道総合病院では新生児医療から、救急医療、各慢性疾患、発達障害、心身症など幅広く診療しておりました。5年ぶりに当院に戻りましたが、少子化や感染症罹患の減少などにより、時間外救急診療の受診者数は減少傾向にあるものの、深夜帯受診の患者さんの比率が増えているように感じます。昨年度より重症心身障害者短期入所サービスを開始し、利用者数も増加傾向にあります。今後は小児救急医療、感染症診療に加え、障害者の在宅医療のサポートにも力を入れていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

内科

消化器 内科

舟入市民病院内科は常勤医として呼吸器内科4名、消化器内科2名、血液内科2名、循環器内科1名でそれぞれ構成されています。今回は消化器内科、血液内科を簡単にご紹介いたします。

山本、國弘の2名が担当し、消化管を中心とした内視鏡検査・内視鏡治療での診療を行っております。共に日本消化器病学会と日本消化器内視鏡学会の専門医を取得しており、國弘は消化器病学会の指導医となっております。現在の2名では一般健診（ドック）には対応できず、大学の応援で1名に内視鏡検査を手伝っていただいております。肝・胆膵に関しては専門とは外れてしましますが、緊急の場合は必要な処置等の判断をいたしますのでご連絡ください。ほか、ピロリ菌感染の除菌判定が必要な方で急ぐようでしたら尿素呼気試験が即日実施可能ですので（絶食が必要）ご利用ください。

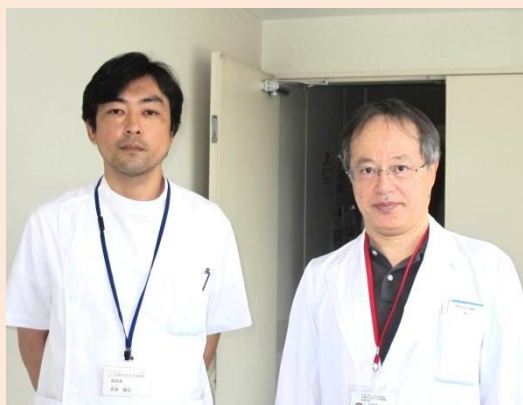
（消化器内科一同）



血液 内科

舟入病院に血液内科ができて3年目に入りました。新谷、吉田の常勤医師2名と広島大学血液内科医局からの非常勤応援医師3名で血液疾患の診療を行っています。当科の患者様は高齢者が多いため、入院で無理せず、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等の化学療法を行っています。

大学病院や広島市民病院での標準治療から外れた患者様の救済化学療法や終末期の緩和医療、リハビリテーションにも積極的に取り組んでいます。外来では開業医の先生方から血算の異常やリンパ節が腫れた患者様を多く紹介していただいております。外来化学療法や輸血も日常的に行っています。大きな病院に相談するには敷居が高いとか、こんなことで紹介すると悪いかな、とお悩みの患者様がいらっしゃいましたらお気軽に相談してください。高齢化社会によって骨髄異形成症候群や多発性骨髄腫の発症リスクが上昇しており、身近に血液疾患が隠れていることがあります。今後とも広島市立舟入市民病院血液内科をよろしくお願いいたします。（血液内科一同）



外科 Topics

外科での取り組みについて

平素より貴重な患者さんを御紹介いただきましてありがとうございます。

舟入市民病院外科では、鼠径ヘルニア、胆石症など良性疾患の手術治療を中心に行っております。

皆様方の御紹介のおかげで、当科での 2016 年鼠径ヘルニア手術件数は全国 3 位（NCD 登録 1,831 病院中）となりました。鼠径ヘルニアの術式については、従来からの鼠径部切開法に加えて、腹腔鏡下ヘルニア修復術（TAPP 法）を導入しております。腹腔鏡手術のメリットとしては、①手術の傷が小さく術後の疼痛が少ない②腹腔内から観察することでさらに確実にヘルニア門を覆うようにメッシュを敷くことが可能である、といった点が挙げられます。どちらの術式でも入院日数には変わりはありません（最短で 1 泊 2 日です）。症例に合わせて、また患者さんの希望に応じて術式や入院日数を決定しております。また、再発鼠径ヘルニア、鼠径部子宮内膜症など高度な専門的知識を必要とする疾患も、数多く治療しております。

鼠径ヘルニア手術以外にも、胃癌や大腸癌の手術および化学療法、胆石症手術、虫垂炎手術などを行っております。がん拠点病院では、手術待ち期間が長く、精神的に耐えられない患者さんに、可及的早く手術を受けていただくなど、患者本位のがん治療を行っております。癌患者さんの緩和治療については、外来および入院で対応しております。難治性腹水症例に対して改良型腹水濾過濃縮再静注療法（KM-CART）を導入し、最後まで腹水貯留に伴う腹満感や苦しさを緩和できるよう取り組んでおり、ご家族の方々を含めて大変ご満足していただいております。

今後とも引き続き舟入市民病院外科をよろしくお願い致します。

（外科一同）

小児科 Topics

食物アレルギーについて



近年こどもの食物アレルギーが増加していると言われており、実際当院の救急外来にも食物アレルギーによる急性アレルギー症状で受診するこどもが増えています。その中には①初めて原因となる食物を食べてアレルギー症状が出た場合、②すでに診断され食物除去を行っているが誤食により症状が出た場合、③最近時々見られるのですが、免疫療法として食べられる量を少量ずつ増量しながら自宅で食べている最中に予想外の症状が出た場合、などがあります。アナフィラキシー症状で受診される場合も多く、アドレナリンの投与を要し入院経過観察することも少なくありません。こどもの食物アレルギーは頻度の高い疾患ですが、保護者の理解度に差があり、誤った情報をもとに対応されている場合が見受けられます。当然ですが正しい診断と治療は不可欠であり、そのためには詳細な病歴聴取と、実際に原因食物を摂取して症状が出るかどうかを確認する経口食物負荷試験が必要となる場合が多く、そのニーズは増えています。経口食物負荷試験の目的は食物アレルギーの確定診断と、診断治療後耐性獲得されたかどうかを知る事の二つがあります。食物アレルギーであっても安全に食べられる量を継続して食べることによって治癒する可能性が高まると言われています。そのため食べられる閾値を知ることが大切です。当院では同検査を外来で行う場合と、朝入院し病棟にて検査終了後給食を食べて夕方帰宅する日帰り入院検査も行っています。外来が手狭なこともあって入院での検査を勧めています。食物アレルギーでお困りの患者さん、食物経口負荷試験をご希望の患者さんがおられましたら是非ご紹介ください。

（小児科主任部長 岡野 里香）



～部門紹介～

リハビリテーション科



当院リハビリテーション科は内科常勤医 1 名、外科常勤医 1 名、理学療法士 4 名で構成されています。施設基準は呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）、運動器リハビリテーション料（Ⅱ）を申請しており、今年度からがん患者リハビリテーション料を開始しています。患者様の笑顔を再び取り戻すことを基本理念として、安全で患者様 1 人 1 人に合ったリハビリテーションを提供できるよう努めています。

主な対象としては、呼吸器疾患、化学療法を行う血液疾患、癌ターミナル期の緩和的介入、術後などで ADL 低下した患者様のリハビリを行っています。当院では、早期からリハビリを開始することで廃用予防するとともに、退院後の生活へ円滑に移れることを目標にしています。他職種との連携を図るため毎週カンファレンスで情報交換を行い、患者様の状態に合わせてリハビリ計画を立て、進めていきます。

地域包括ケア病床（10 床）を 2015 年 12 月より開始しており、在宅復帰に必要なリハビリテーションを提供させて頂いています。また、重症心身障害児（者）短期入所（レスパイト）においても能力維持・拘縮予防を目的にリハビリテーションを行っています。微力ながら地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願いします。



（リハビリテーション科一同）

～部門紹介～

薬剤科

舟入市民病院 薬剤科には現在 15 人の薬剤師が在籍しており、小児救急医療と入院診療に対応するために 24 時間 365 日、業務をおこなっています。平成 26 年の地方独立行政法人化とともに、人事交流が進み現在は広島市民病院経験者と安佐市民病院経験者が半数以上となりました。



当院は、内科、外科、小児科が主な診療科ですが、これまでに他病院で培った循環器内科、心臓血管外科、乳腺外科、脳神経外科、泌尿器科、精神科などでの病棟業務の経験を活かして、入院患者様の持参薬の鑑別や、ベッドサイドでの服薬指導、医師への処方提案など積極的に病棟活動を行っており、平成 28 年には病棟業務実施加算の要件を満たす事ができました。

また、抗癌薬のレジメン登録と調製、TPN の混注業務、ICT、NST、緩和、褥瘡などの院内チーム医療へも参加しており、ワンランク上の業務を目指しております。今後も医師、看護師や他のスタッフと協力し、患者様に適切な薬物療法が行われるよう全面的にバックアップしていきます。

（薬剤科一同）





広島市立舟入市民病院検査科は国家資格を有する臨床検査技師 14 名と業務員 2 名で日々の検査業務に当たっています。良質で付加価値のある検査データを、迅速かつ正確に提供することを心がけています。日々の内部精度管理に加え、外部精度管理にも積極的に参加し、日本臨床衛生検査技師会精度保証認定施設に登録されています。また、個々の検査技師も積極的に認定資格を取得しており、いつでも同じ結果、同じ対応ができるよう、知識・技術の向上に努めています。

当院は小児救急医療拠点病院として夜間休日も救急診療を行っており、検査室も 24 時間体制をとっています。また、健診センター（平成 27 年 8 月より、広島市立広島市民病院から移管）の検査業務にも携わっています。

検査室の業務は、血液や尿中の成分を分析する検体検査、血液型や交差適合試験などの輸血検査、心電図や超音波検査などの生理検査、病原菌の同定と薬剤感受性を調べる細菌検査に分かれています。

また、第 2 種感染症指定医療機関であるため、特定感染症の検査にも対応しています。

院内では、感染対策委員会、NST などの各種委員会にもデータを提供し、チーム医療の一員として活動しています。

これからも、患者様が安心して検査や治療をうけていただけるように努めて参ります。

（検査科一同）



放射線科では、一般撮影、TV 検査、CT 検査、MRI 検査、核医学（RI）検査、骨密度測定検査、放射線画像診断（読影）のサポート及び画像管理等を行っています。日々、装置の点検、管理を行い、受診者の皆様に安心、安全な検査が行えるよう心がけています。

他の医療機関との連携も充実しており、CT 検査、MRI 検査、RI 検査については他院からの依頼検査も実施しています。読影は遠隔読影施設に依頼しており、結果は CD-R・DVD にてお渡ししています。

MRI 装置は、2013 年に 1.5T に更新しました。それに伴い高画質、高機能な検査を行えるようになりました。MRI 検査は磁力を利用するため放射線被ばく無く、頭部、腹部、脊椎等の精密検査が行えます。1 つの検査部位につき 30 分程度で撮影でき、造影剤を用いた検査（1 時間程度）にも対応します。

RI 検査は 30 種類ほどあり、当院では主に脳と骨、他に腫瘍、炎症、甲状腺、腎臓、肺などの検査を行っています。脳血流シンチは認知症にも適用されており、アルツハイマー病と血管性認知症での集積欠損の違いに基づいて、両方の疾患の判別が可能です。RI 検査は、病変や機能異常を早期に発見でき、診断価値が高いとされています。骨シンチグラフィは骨造成を反映する検査であり、癌が骨へ転移しているかどうかの検出に利用されています。

（放射線科一同）



～部門紹介～

健康管理センター

日本の平均寿命は、世界でも最高水準にあります。一方で、糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病が増えています。生活習慣病は、直接の死因とはなりにくいまでも増加の一途をたどっており、平均寿命と健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の格差が問題となっています。そのため、生活習慣病を早期に予防すること、生活習慣病になっても Good Control を目指すことが大切です。



健康維持の主役 それは あなた自身です！

いつまでも元気で健康に過ごすために、自分自身のなかで育ちつつある病気の芽を認識し、「自分の健康は自分で守る」そんな強い気持ちを常に持ち続けることが大切です。



当院では健診部門を、平成 27 年 8 月に広島市民病院から移管し、健康管理センターを開設しました。当センターでは、外来ドックや脳ドック、婦人科検診の他、各種オプション検査を準備させていただいております。ホスピタリティマインドのもと、診察を担当する医師をはじめ看護師、検査技師、事務職員などスタッフ一同、お一人おひとりの健康維持をサポートさせていただきます。皆さまのお越しを、心よりお待ちしております。

（健康管理センター一同）

～部門紹介～

栄養室



栄養室は、3名の管理栄養士が勤務しています。内科病棟1名、外科・小児科病棟1名、NST専従として1名配属されています。食事は委託業者の管理栄養士1名、栄養士2名、調理師1名、他調理員等スタッフが心を込めて作っています。季節ごとの行事にはメッセージカードを添えた行事食も提供しています。入院中のお食事は入院生活における大きな楽しみとして、また治療の一環として重要な位置にあります。

患者様のお部屋に訪問し、食事形態は適切か、喫食量はどうか、食欲不振の方には、お口に合う物の提案や相談を行い患者様の嗜好と病態に合わせたきめ細やかな食事を提供できるよう心がけています。また、退院時の食事指導では、在宅でも継続出来るよう、嚥下訓練食の指導も行っています。



月曜日から金曜日の平日は、外来の栄養指導も行っています。糖尿病専門外来（月・金）受診の際は、合わせてお食事の話も聞いてみられてはどうでしょうか。生活習慣やライフスタイルに合った食生活プランを共に考えサポートしたいと考えております。

秋は行事食として、季節の食材を使用したお弁当給食を提供しています。

（栄養室一同）

栄養室より お知らせ

秋の特別献立

今日は秋の特別献立です。
ぜひお楽しみ下さい♪



お品書きおしながき
松茸ごはん
秋刀魚の塩焼き
焼野菜・稲栗
大根おろし
炊き合わせ
季節の果物

医療支援室より

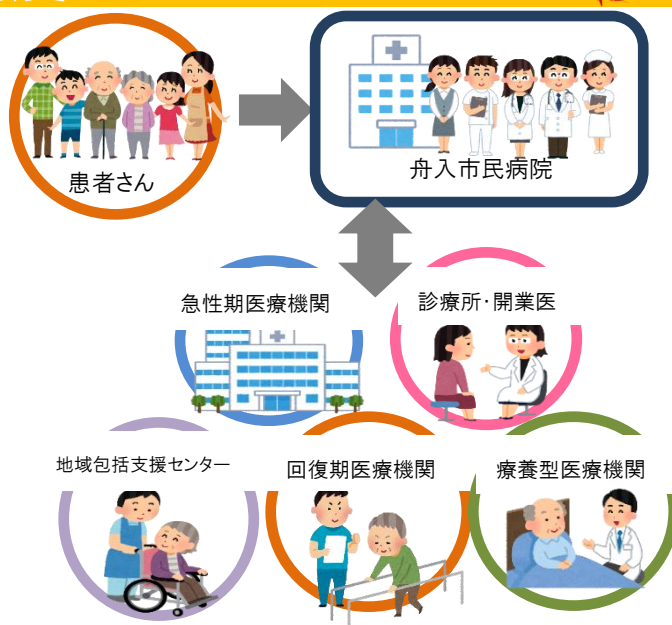
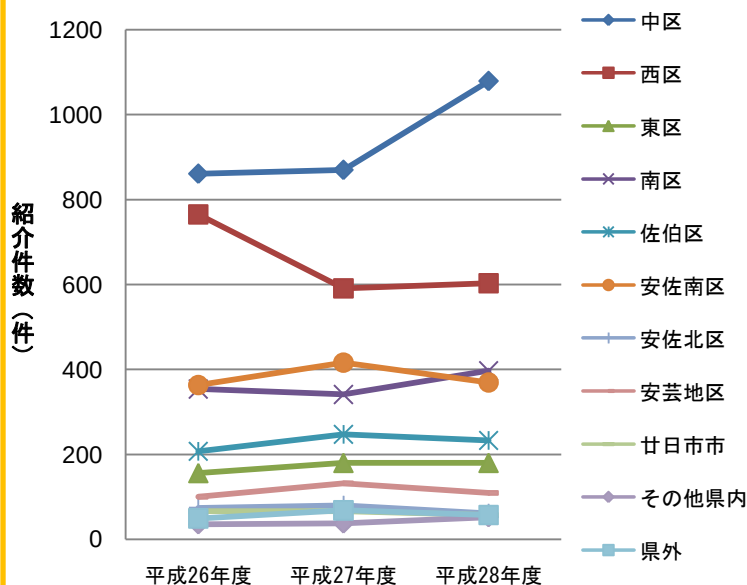
何時も医療支援室の運営にご理解とご協力を賜り有り難うございます。

平成26年度から医療支援室として独立して3年目を迎え、やっと皆様にご周知いただけるようになったところです。

医療支援室では、看護師長1名、看護師2名、MSW2名、事務職員3名で対応しています。

前方連携業務においては、医療機関からの患者紹介に関するお問い合わせ、外来診療予約、内視鏡検査（胃瘻造設や胃瘻交換含む）や放射線検査予約などの業務、返書管理を行います。患者紹介におきましては、おかげさまで、以下のような地域の皆様からご紹介を頂いております。（「地区別紹介件数推移グラフ」参照）

地区別紹介件数推移（平成26年度～平成28年度）



後方連携業務では、主に当院での治療が終了した入院患者さんの退院支援を行っています。継続治療、リハビリ等が必要な患者さんには転院施設の紹介を行っております。また、自宅に帰られる患者さんで引き続き治療や介護が必要な方には、在宅医の紹介をはじめ、その他介護、福祉サービス事業者との連携を取り、患者さんやご家族の相談に応じています。

その他、医療支援室は患者相談窓口、重症心身障害児（者）短期入所サービス事業（以下レスパイト）の受付窓口となっています。レスパイトにおきましては、事業開始時から多くのお問い合わせをいただき、現在のご契約者が43名となっています。

今後も地域に根付いた医療支援室として、前方・後方連携はもちろん、その他の事業に関しても強化に努めて参りますので、今後ともより一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※紹介手順や当院書式の診療情報提供書におきましては、当院ホームページにてご確認くださいませようお願い致します。

外来担当医表

平成 29 年 9 月現在

受付時間		診療科	月		火	水	木	金	土	日	主な専門分野			担当医	診療科からのご案内						
午前	8:30～11:00	内科	1診	山本	長尾	新谷(貴)	吉田	新谷(貴)	休診	内科	呼吸器	柳田・沖本・ 長尾・前野	※内科医師は、内科専門分野と一般内科の診療を行っています。 ※当院内科は、予約患者さんが優先となっております。 ※胃カメラ、大腸検査、CT、MRI、エコー等の検査は予約制となっております。								
			2診	前野	柳田	國弘	柳田	沖本			山本・國弘										
			3診(新患)	沖本	前野	吉田	長尾	國弘			井上(一)・橋本										
			4診	循環器専門外来 橋本	循環器専門外来 井上(一)	循環器専門外来 井上(一)	－	循環器専門外来 井上(一)			新谷(貴)・吉田										
			5診	－	糖尿病専門外来 新谷(眞)	－	－	糖尿病専門外来 新谷(眞)			新谷(眞)										
	外科 小児外科	1診	山岡(裕)	長谷	金廣	山岡(裕)	村尾	24時間 急患診療	外科	一般外科 消化器外科	津村・金廣・ 長谷・村尾	※小児外科の診療は月曜日・木曜日に行っております。									
		2診	金廣	津村	村尾	長谷	津村			小児外科 新生児外科	山岡・市川										
	小児科	1診	岡野	藤井(裕)	松原	佐藤	高本	24時間 急患診療	小児科	神経・痙攣	兵藤・藤井(裕)	※ 当院小児科は、予約患者さんが優先となっております。 ※ 火曜日の乳児健診は予約なしで受けることができます。母子手帳を必ずご持参ください。 ※ 水曜日の予防接種(ロタ、B型肝炎)は予約制となっております。受付時間は12:30～15:00です。15:00までにお越しください。その他の予防接種は、予約なしで受けることができます。母子手帳を必ずご持参ください。									
		2診	高本	野本	下園	吉野	古江			循環器 (心エコー)	高本										
		3診	古森	兵藤	－	－	－			感染症	兵藤・松原・下園										
(月)X(水)X(金)	ペイン クリニック	麻酔科	佐々木	－	佐々木	－	佐々木	休診	小児科	喘息・アレルギー	岡野・下園・吉野										
8:30～11:00	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	小児消化器	佐藤														
午後	12:30～15:00	内科	1診	吉田	沖本	長尾	山本	前野	休診	小児科	腎臓	古江	※ 当院小児科は、予約患者さんが優先となっております。 ※ 火曜日の乳児健診は予約なしで受けることができます。母子手帳を必ずご持参ください。 ※ 水曜日の予防接種(ロタ、B型肝炎)は予約制となっております。受付時間は12:30～15:00です。15:00までにお越しください。その他の予防接種は、予約なしで受けることができます。母子手帳を必ずご持参ください。								
			2診	－	－	－	－	－			一般小児	野本・古森・ 山岡(尚)・藤川									
			3診(新患)	國弘	新谷	沖本	前野	長尾			－										
		外科 小児外科	1診	市川	－	－	市川	－			24時間 急患診療	小児科		小児心療科	予約外来	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	休診
			2診	－	－	－	－	－													
	(月)X(水)X(木)	小児科	1診	吉野	下園	佐藤	藤井(裕)	松原	24時間 急患診療	小児科	＊ペインクリニック：対象となる疾患は帯状疱疹・顔面麻痺・腰痛症(ぎっくり腰)・五十肩・神経痛・頭痛・多汗症など。 ＊小児心療科：小・中学生を対象として、不登校・神経症・PTSD(心的外傷ストレス障害)等に対する外来診療を行っています。診療は予約で行っておりますので、まず電話でご相談ください。 ＊小児皮膚科：難治性の小児アトピー疾患を中心とした外来です。										
	12:30～15:00		2診	山岡(尚)	古江	岡野	野本	古森													
	(火)X(金)		3診	兵藤	－	－	藤川	－													
	12:30～16:00	健診等	－	乳児健診	予防接種	－	－	休診	小児科	＊小児皮膚科：難治性の小児アトピー疾患を中心とした外来です。											
	13:00～17:00	小児心療科	予約外来	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原	黒崎 撰 吉原			黒崎 撰 吉原											
水曜 12:30～16:00	小児皮膚科	－	－	田中	－	－															

*ペインクリニック：対象となる疾患は常状疱疹・顔面麻痺・腰痛症(ぎっくり腰)・五十肩・神経痛・頭痛・多汗症など。
*小児心療科：小・中学生を対象として、不登校・神経症・PTSD(心的外傷ストレス障害)等に対する外来診療を行っています。診療は予約で行っておりますので、まず電話でご相談ください。
*小児皮膚科：難治性の小児アトピー疾患を中心とした外来です。

当院へのアクセス

※最新の情報は当院ホームページにてご確認ください。

■広島バスセンター方面(紙屋町)より

広電バス・・・江波方面ゆき (かきうち通り経由を除く)

:舟入幸町バス停 下車、徒歩 5 分

西部エリア各団地方面行き

:新観音橋東バス停 下車、徒歩 4 分

■広島駅より

広島電鉄・・・江波ゆき

:舟入本町電停 下車、徒歩 5 分

広電バス・・・八丁堀経由 観音マリーナホップゆき

:新観音橋東バス停 下車、徒歩 4 分

八丁堀経由 広島ヘリポートゆき

:新観音橋東バス停 下車、徒歩 4 分

■横川駅より

広島電鉄・・・江波ゆき

:舟入本町電停 下車、徒歩 5 分

■西広島駅より

広島電鉄・・・広島駅ゆき 又は 広島港ゆき

:土橋電停にて江波ゆきに乗り換え

舟入本町電停 下車、徒歩 5 分



地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立舟入市民病院

〒730-0844 広島市中区舟入幸町 14 番 11 号

TEL:082-232-6195(代表) FAX:082-232-6156

編集・発行 医療支援室 TEL:082-232-6123



駐車場 100 台収容可能